

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 15-006

PDCA	事務事業名	亀崎地域総合福祉センター 運営事業	部課等名	福祉部 地域福祉課 地域福 祉担当	担当 内線等	吉澤伸博 348	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第2章 子育てと暮らしを地域で支え合うまち 節： 第2節 地域福祉の推進 基本施策： 2. 高齢者福祉 単位施策： (2) 高齢者生きがいがづくりの推進 個別施策： ①地域社会への参加の促進					
	根拠法令等	半田市亀崎地域総合福祉センター条例					
	対象・目的	センターの管理運営を通じ、高齢者を始めとする地域住民の介護予防、福祉増進、地域づくり等に寄与する。					
	目的を達成するための手段・活動内容	センターの運営を地域コミュニティに委託し、各種イベント等を実施することにより施設利用を促進して地域福祉の増進を図る。なお、市は、利用者が安心安全に施設を利用できるよう、施設・設備の適切管理、環境整備等に取り組む。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①利用者向けイベント等事業実施回数	110	104	45	回	
		②開館日数	285	259	217	日	
		③					
		事業費	12,112	9,523	6,977	千円	
		人件費	1,562	1,863	2,160	千円	
		総事業費	13,674	11,386	9,137	千円	
		活動単位当たりのコスト	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
	①開館1日あたりのコスト	48	44	42	千円		
	②						
	③						
	成 果	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①年間延べ利用者数	実績値	77,711	103,329	13,194	人
			目標値	90,000	80,000	80,000	
②		実績値					
		目標値					
③		実績値					
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	
	事業の 評価・課題	C					
		新型コロナウイルス感染症の影響により4月から5月中旬まで閉館となり、利用者数は大きく減少したが、感染予防の周知・啓蒙を進めながら施設の利用促進を図り、地域福祉の増進に取り組んだ。また、外構フェンス及びコンクリート土間の修繕を行い、利用者が安心安全に利用できる環境整備に取り組んだ。なお、令和2年度に利用者数のカウントを自動ドアのセンサー感知方式から実利用者計上方式に改めた。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進 地域住民の交流・活動拠点として、施設のさらなる利用促進に取り組む必要がある。また、新型コロナウイルス感染対策等を適切に行い、利用者が安心安全に利用できる施設運営に取り組む。なお、本施設は、改築後29年経過しており、施設の老朽化が進んでいるため、設備等の維持管理に取り組むとともに、将来的な施設のあり方を検討する必要がある。					
	令和3年度の目標	成果指標			目標値	単位	
		年間延べ利用者数			20,000	人	